

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

2014年中の検察庁犯罪統計の結果、総被害認知件数は前年比0.61パーセント減少したものの、罪種別で見ると、現行犯逮捕を含む引ったくり事件が前年比21.9パーセント増加、強盗事件が同比14.3パーセント増加している。また、発生場所としても、サンティアゴ東部の住居に対する窃盗事件が前年比7.9パーセント増加している。特にビタクラ区やラス・コンデス区の邦人が主に居住する地区の強盗や空き巣被害が目立って多くなっている。

また、アディマーク社による国民に対するアンケート結果では、サンティアゴ市内の45パーセントの家庭が盗難被害に遭った、若しくは同未遂被害に遭ったと回答しており、2013年と比べ、4.6パーセント増加している。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 1月8日(木)午後11時20分頃、首都圏地下鉄フランクリン駅設置のATM機を6人組の強盗が爆破して現金ボックスを奪い逃走した。逃走時にマキビシを使用。

(2) 1月14日(水)夜、サンティアゴ市ビタクラ区において夫と共に車で帰宅した女優を若者数名が取り囲み、荷物を渡すように脅した。それを拒否したところ殴られ車を奪われた。

(3) 1月14日午後10時45分頃、首都圏地下鉄ロス・レオネス駅設置のATM機を3人組の強盗が爆破したが、現金ボックスを取り出せず、盗難車で逃走した。

(4) 1月15日(木)午前9時30分頃、サンティアゴ市のモール内の銀行に強盗が押し入り、6,400,000ペソを奪い盗難車で逃走した。犯人等はモール内の店舗が開店する前、唯一開いている銀行に直行し、2人が客を拳銃で脅し、もう1人が警備員から拳銃を奪った。金庫にも向かおうとしたが、警報器が鳴ったため盗難車で逃走した。逃走時にマキビシを使用。

(5) 1月27日(火)午前7時40分頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区の一軒家に銃を所持した4人組の強盗が押し入った。被害者の息子が部屋に隠れて母親に連絡し、連絡を受けた母親から警察に通報し、駆けつけた警察によって逮捕された。

(6) 3月19日(木)午前9時15分頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区の病院内にある銀行に強盗が押し入り、200,000,000ペソを奪い逃走した。

3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 2月13日(金)午前3時30分頃、コピアポ市内でゴミ収集用のコン

テナが爆発した。現場からは導火線が発見された。

(2) 2月22日(土)午前8時50分頃、サンティアゴ市ラス・コンデスの教会の扉前で圧力鍋に黒色火薬を使用した爆発物が爆発した。

4 薬物事案

1月24日(金)、刑事警察庁はアントファガスタ州マリアエレナ地区において、約15年間活動していた麻薬組織のボリビア人6人、チリ人4人を逮捕し、357キロのコカイン等総額8,696,040,000ペソ相当を押収した。

5 誘拐事案

1月30日(金)、刑事警察庁はサンティアゴ市レコレタ区のカラオケバーにおいて、VIPの売春目的で女性を韓国から騙して連れてきた韓国籍の男2人を逮捕した。

6 邦人被害

(1) 1月16日(金)午後11時頃、邦人男性がサンティアゴ市ラス・コンデス区のBarで飲食中、席の隣に置いていたパスポート等在中のバッグを盗難に遭った。

(2) 2月14日(土)午後3時頃、邦人男性が一人でバルパライソ市内のアーセソール(エレベーター)を上った付近の通りを歩いていたところ、後ろから犯人に押さえつけられ、転んだところをもう1人の犯人がズボンの後ろポケットに入れていた財布を奪って逃走した。

(3) 2月20日(金)午後10時頃、一人旅をしていた邦人男性が、チリ北部カラマ市のバスターミナルにおいてチリ男性に話かけられた際に、パスポート等在中の鞆を盗難に遭った。

(4) 2月21日(土)22時頃、南米を一人旅中の邦人男性が、カラマ市のバスターミナルにてタバコを吸う際に、カバンから目を離した際にクレジットカード、現金等在中の鞆を盗難に遭った。

(5) 2月23日(月)正午頃、一人旅中の邦人女性が、チリ北部アントファガスタ市のバスターミナルにおいてバスに乗車しようとしたところ、チリ人男性に「荷物を運ぶの手伝いしましょうか。」と話かけられた際に、カメラ等在中の鞆を盗難に遭った。

(6) 2月24日午後6時頃、一人旅中の邦人女性が、バルパライソのスーパーマーケットで会計後、財布及びパスポートをカバンから盗難に遭った。

(7) 2月26日(木)午後10時55分頃、邦人女性がパトロナートで買い

物した後、ラス・コンデス区の自宅マンション前でタクシーから降りたところ二人組の男に襲われ、現金、身分証等が入ったバッグを奪われそうになったことから、盗られないようにしがみついたところ数十メートル引きずられたうえ奪われ、擦り傷等の軽傷を負った。犯人は待機していたタクシーに乗って逃走した。

(8) 2月27日(金)午後9時から午後11時までの間、邦人女性出張者がサンティアゴ市内のレストランで食事中、椅子の後ろに置いていた旅券、現金等在中の鞆を盗難に遭った。

(9) 3月7日(土)午後12時頃、サンティアゴ空港近くのホテルにおいて、邦人男性が就寝中に、部屋に侵入され現金のみを盗られた。

(10) 3月7日(土)午後5時半頃、邦人男性宅においてブザーを鳴らす音がしたので、不審に思いテレビの音量を下げ、しばらく様子を見ていたところ、5分ほど経過したところで、ドアの隙間にカードのような物を挟み、鍵穴に何かを挟みギコギコと鍵穴をいじりだしたため、ドアを内側から叩いたところ走って逃走した。

(11) 3月13日(木)午後8時過ぎ頃、邦人女性が首都圏地下鉄トバラバ駅付近のバス車内において出口前のアクリル板でカバーされている窓際の席で携帯を手に持っていたところ、若いチリ人女性が降り際に、その携帯をひったくり逃走した。

(12) 3月17日(火)午後8時頃、邦人男性がカラマのホテルロビーで旅券等在中のリュックサックを椅子の上に置いて、チェックアウトの順番を待ちながら立ち話をしている隙に、リュックサックを盗難に遭った。

(13) 3月18日(水)午後12時15分から17時50分頃までの間、ラス・コンデス区の邦人自宅マンションに空き巣が入り、自宅に置いておいた金庫やブランド品等を盗難に遭った。